白岡市協働のまちづくりモデル事業補助金

事　業　計　画　書

団体名	山の公園企画運営部会
団体の代表者	
団体の所在地 （代表者の住所） 及び会員数	所在地　〒349-0218 （住所）白岡市白岡
団体の設立年月日 及び活動年数	2014年　4月　8日設立（山の憩いの森公園企画運営部会） 2021年　3月14日名称・規約変更（山の広場追加による） 活動年数　　7年　2か月
事業の種類	市民提案事業
事業名	「山の広場」の整備
実施期間	2021年7月1日から 2021年12月31日まで
実施場所	山の広場（白岡市白岡711-1）
予定参加者数	作業者予定数約10人（公園利用者　　述べ約4000人）
事　業　概　要	「山の広場」は、梨畑跡地を地権者から白岡2山行政区会が昨年12月に無償で借り受け、白岡市の援助もいただきながら地域住民が協力して「地域住民の憩いと集いの場」および「災害時の避難場所」として活用することを目的に徐々に整備して来た生まれたばかりのまだまだ未整備の公園です。これまで地域の個人、市ほか多くの支援をいただきながら、自助努力で境界の整備、倉庫、椅子等の設置を行い、現在は井戸設置を業者に委託することなく住民たちで掘り、台座を作成し進めています。 今回は、難儀している雑草対策としての自走式刈込機の購入と刈込雑草堆肥場の作成、未整備な北側の土地（約10m×約35m）及び既に植栽を始めている道路側の土地（約1m×約60m）について花壇・小農場として整備する事を計画したいと考えます。
事業実施の効果	手押しの芝刈り機で雑草を刈り込んできましたが、非常に大変な作業で限られた方だけが行っていました。また、十分に刈り込むことも困難でした。しかし、今後自走式刈込機を用いることにより刈込の精度も向上し、刈込参加者も増やす事ができるようになります。また、避難所としての機能を維持することにもつながります。 北側及び道路側の土地を耕運し花壇や小農場とすることで、広場に明るい情景を作り利用者や通行人の心を和ませ、子どもをはじめとする地域住民の利用者の増加につながります。そして、作業を通じて住民同士の会話が弾み地域の絆が強くなり、子どもたちに美しいものを大切にする心が育成されます。広場に集まる事で季節を感じ、心が休まりストレス解消につながります。

白岡市
地域振興課
収 3.6.-4
第　号

収　支　計　画

1　収入の部

項　　目	予算額（円）	内訳（算出の明細）
白岡市協働のまちづくりモデル事業補助金	100,000 円	自走式草刈り機：89,800 円 堆肥用囲い設置：パネル 12,000 円
行政区会補助金	11,800 円	耕運機貸借料：10,000 円
合　　計	111,800 円	

2　支出の部

項　　目	予算額（円）	内訳（算出の明細）
自走式草刈り機	89,800	自走式草刈り機：89,800 円
パネル	12,000	900（cm）×1800（cm）パネル： 1 枚 3,000 円、計 4 枚
耕運機貸借料	10,000	耕運機貸借料：近隣の農家に依頼（ガソリン代他）
合　　計 （うち対象外経費の額）	111,800 （10,000）	

添付書類

・算出の明細がわかるもの（見積書の写し等）
・団体の規約、会則等
・団体の活動状況がわかるもの（総会資料、団体の広報紙等）
・団体の役務の提供に係る料金を計上する場合は、その内訳がわかるもの
・その他事業計画の内容がわかるもの

備考欄